日本電産（Nidec）グループ
COPAL ELECTRONICS
All for dreams

2011年3月期第2四半期決算説明会

2010年10月27日

日本電産コパル電子株式会社

http://www.nidec-copal-electronics.com

◆業績のポイント

	’10年9月期	’09年9月期	前年同期比	開示値比
売上高	157.9億円	106.8億円	＋47.8%	117.0%
営業利益	26.1億円（16.5%）	6.8億円（6.4%）	＋282.7%	130.7%
経常利益	24.9億円	5.9億円	＋316.4%	131.5%
当期純利益	15.6億円	3.5億円	＋339.0%	142.6%

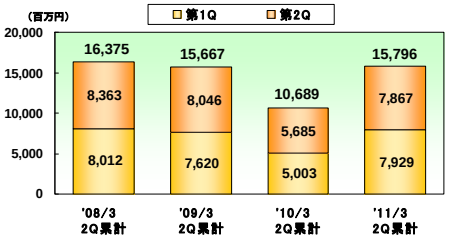
- 営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて *WPR™* プロジェクト開始来の最高を更新。
  四半期ベースも同様、第2四半期営業利益率は17.2%、当期純利益は11.0%を記録。
- 回路部品、圧力センサ、商品が前年同期比大幅増収、アクチュエータも増収を維持。

1

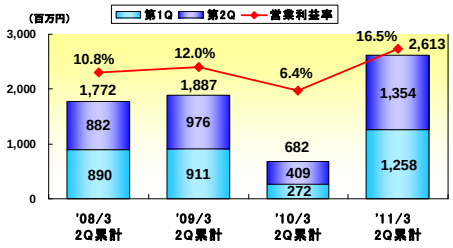
◆連結第2四半期累計業績推移

COPAL ELECTRONICS –All for dreams

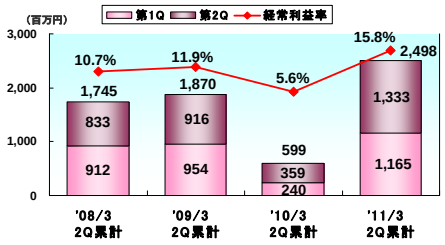
売上高



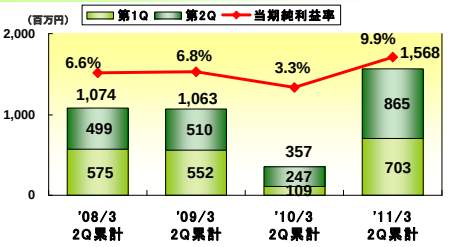
営業利益



経常利益



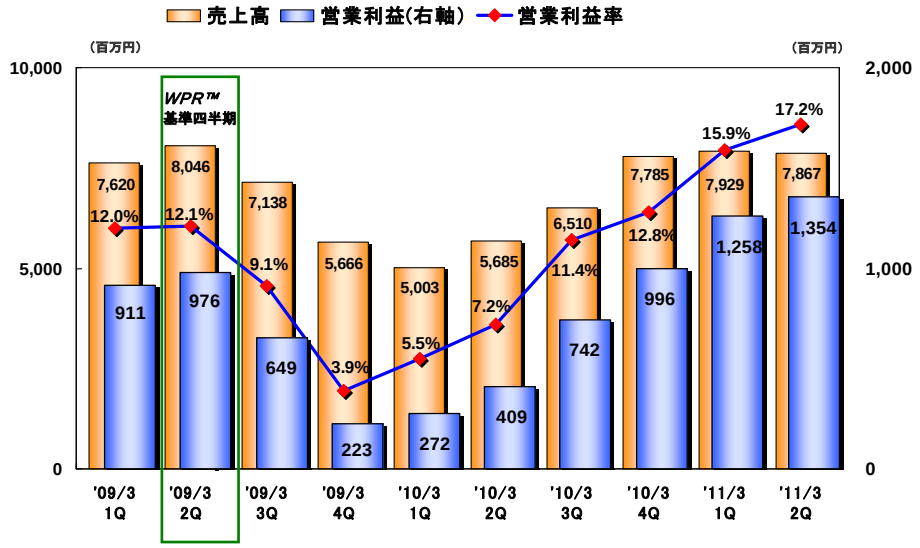
当期純利益



2

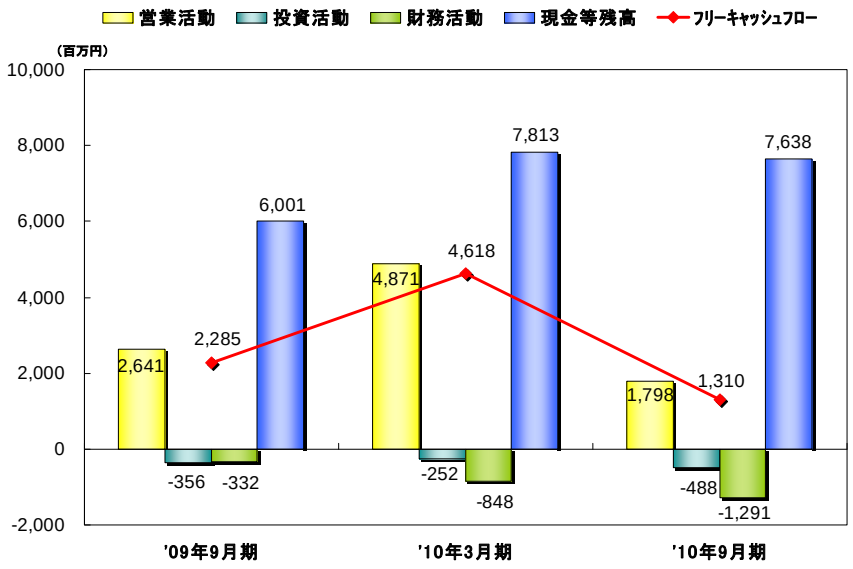
◆連結四半期業績推移

COPAL ELECTRONICS –All for dreams



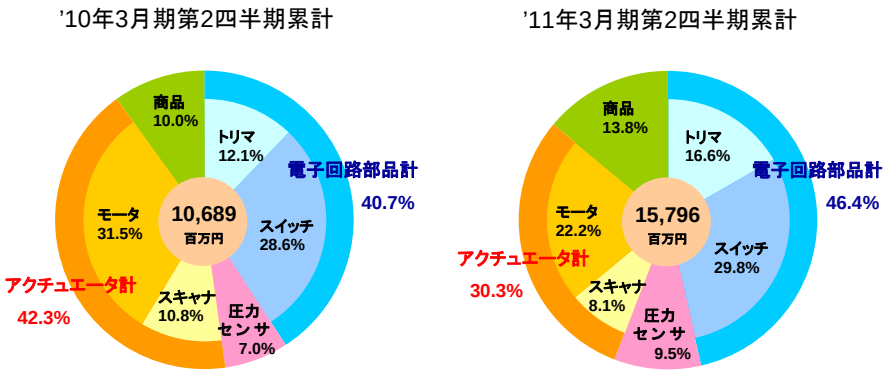
3

◆キャッシュフロー



4

◆連結売上構成比



5

◆2011年3月期計画と各事業の状況

COPAL ELECTRONICS –All for dreams

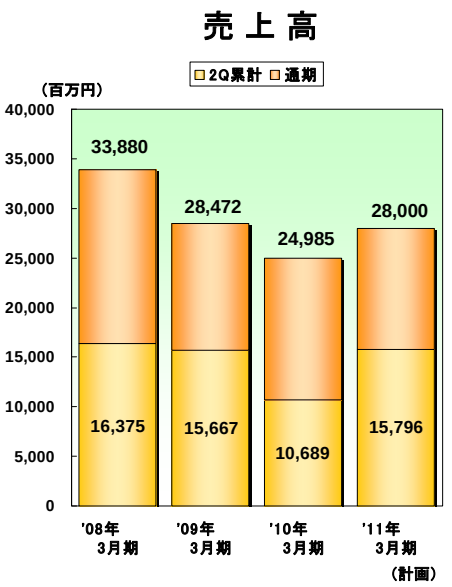
上期業績は開示値を大幅達成だが、通期見通しは修正ありません。

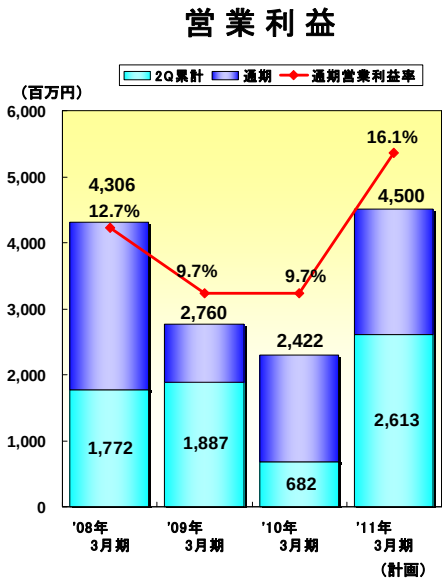
	’10/3月期（実績）	’11/3月期（計画）	増減額	増減率
売上高（百万円）	24,985	28,000	＋3,015	＋12.1%
営業利益（百万円）	2,422	4,500	＋2,078	＋85.7%
営業利益率	9.7%	16.1%	―――	＋6.4%
経常利益（百万円）	2,406	4,400	＋1,994	＋82.8%
当期純利益（百万円）	1,566	2,600	＋1,034	＋66.0%
1株当たり当期純利益（円）	23.62	39.21	＋15.59	―――
1株当たり配当金（円）	10	12	+2	―――

6

◆連結通期業績推移

COPAL ELECTRONICS –All for dreams





7

◆今後の施策

COPAL ELECTRONICS –All for dreams

➢コスト競争力強化・収益性アップ施策

■中国での内製化、中国への内製移管の更なる推進

■生産・業務の合理化効率化
LCA化、現地技術者の育成、生産拠点での設計、国内間接業務の現地化

➢事業成長施策

■既存製品・事業にプラスαで成長事業への変身に挑戦
中国での需要を取込むための一貫ビジネス体制構築

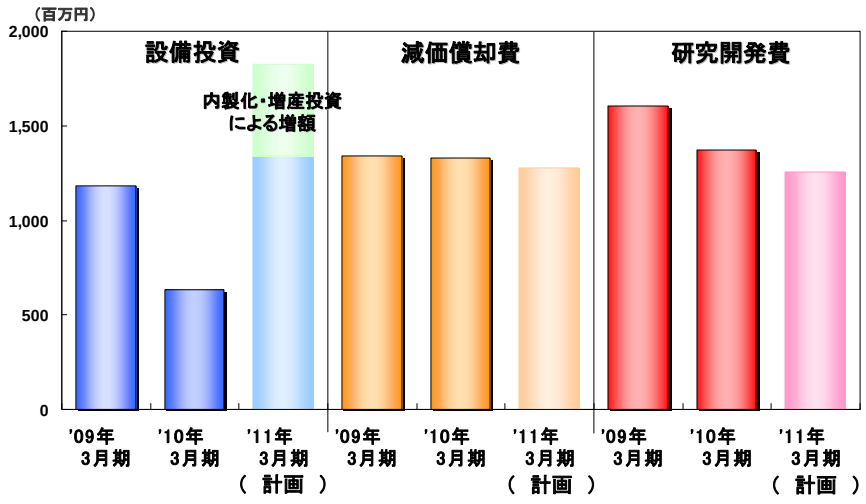
■特定用途、業界、顧客との関係強化、テーマ性ある市場への取組み強化

■新製品を絶えず投入、社外との連携

8

◆設備投資／減価償却費／研究開発費の推移

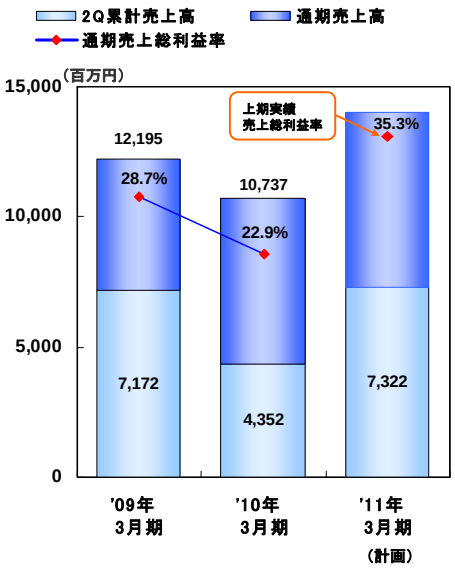
COPAL ELECTRONICS –All for dreams



9

◆電子回路部品　今後の戦略

COPAL ELECTRONICS –All for dreams



競合に先駆しシェアアップによる規模拡大

➢成長市場(中国ローカル市場)攻略による既存事業領域の再成長

・調達比率アップ
・内製部品拡大
・キーパーツの中国生産移管
・現地設計

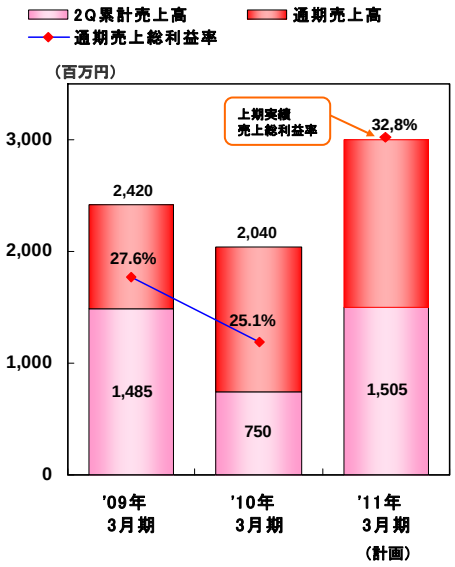
➢競合からのシェア奪取による事業基盤の安定と拡大

・操作用・回路保護・高周波部品の新製品投入
・特定用途向け強化で新市場、新顧客攻略

10

◆圧力センサ　今後の戦略

COPAL ELECTRONICS –All for dreams



市場・顧客対応力強化による事業成長・事業領域拡大

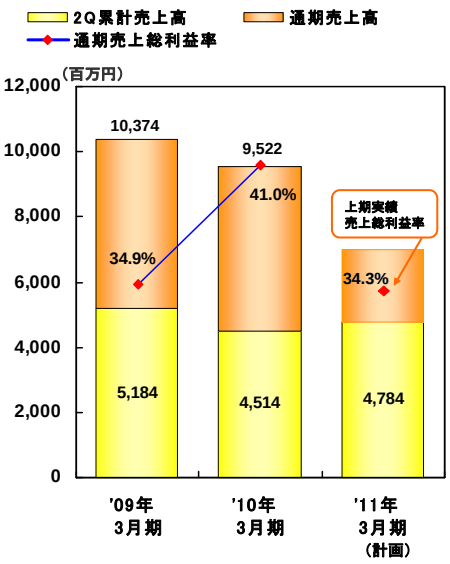
➢部材内製化・組立て工程の一部中国移管コストカ強化と市場開拓

➢テーマ性ある市場への迅速な対応
・環境　エコ　医療、健康

➢事業基盤の安定化と事業成長
・産業機器、医療機器、計測機器市場でのOEM、特定用途対応強化
・新素子・モジュール開発による市場要求技術カアップ

11

アクチュエータ　今後の戦略



パートナーシップ強化・ユニット化による売上確保

➢ポリゴンミラー・スキャナ
・新興国向け市場で数量アップ、数量確保

➢遊技機器市場
・新製品、新用途向け開発、提案力、生産技術力での総合力で勝負

➢高精度・ユニット製品
・OEM強化による事業基盤拡大
・高精度製品のてこ入れ
・医療・工業用検査向け強化

12

日本電産（Nidec）グループ
COPAL ELECTRONICS
All for dreams

WPR は、2008年に日本電産㈱の永守重信が自身の独自の経営手法に付した名称です。
WPR™は、日本電産㈱の日本国における商標です。
WPR© 日本電産㈱ 永守重信 2008年

本ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ資料及び質疑応答時の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画或いは戦略などが含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は製品の需要変動、開発・生産能力、為替変動、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含んでおります。こうした将来予測に基づく記載や発言はその時点における入手可能な情報に基づくものであり、私達はこれを更新する義務を負いませんし、計画の実現を確約したり、将来の業績を保証するものではありません。